

令和7年度加西市歴史文化講演

加西市内における

古墳の新発見と

玉丘古墳群

講師 中久保 辰夫 氏

豊倉1号墳

中富片山古墳

玉丘古墳

加西市内最大・最古の前方後円墳と考えられてきた玉丘古墳。

近年、玉丘古墳よりも古い可能性のある前方後円墳が新たに発見されました。

最新の調査成果をもとに、加西・播磨地域の新たな古墳時代像に迫ります。

令和8年
2月23日(月・祝)

開場 13:30～ 開演 14:00～

アスティアかさい3階 多目的ホール
(兵庫県加西市北条町北条28-1)

定員 90名(先着・要申込) 入場無料



講師
中久保 辰夫 氏
(大阪大学大学院
人文学研究科准教授)

1983年生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程を修了(文学博士)。大阪大学埋蔵文化財調査室助教、同文学研究科助教、京都橘大学文学部歴史遺産学科准教授を経て、2025年より大阪大学大学院人文学研究科准教授。専門は考古学。特に日本古代の土器や、古墳時代における対外交流・国家形成などを研究。



⇨申込みはこちら
(2月2日(月) 8:30～
受付開始)

主催／加西市
問合せ・電話申込み／加西市教育委員会生涯学習課
☎0790-42-8775